

# 平成30年度第4回 印西市市民活動推進委員会 企画提案型協働事業 公開審査会（アイデア審査） 会議要旨

1. 開催日時 平成30年8月17日（金） 午後1時30分～3時20分
2. 開催場所 文化ホール2階 大会議室・多目的室
3. 出席者 志村はるみ委員長職務代理、椎名武博委員、大和正明委員、安倉史典委員、林典子委員、桑田佳雄委員、浅賀博委員、樋口祥明委員、坂本富彦委員 以上9名
4. 発表者 2名（こむnetちば1名、NPO法人エコネットちば1名）
5. 事務局 市民活動推進課 豊田課長、金井係長、杉山、鈴木
6. 傍聴者 5名（定員20名）  
※議題1については、印西市情報公開条例第7条第5号により非公開

## 7. 会議内容

- (1) 企画提案型協働事業 公開審査会（アイデア審査）／スケジュール及び評価の確認について
- (2) 企画提案型協働事業 公開審査会（アイデア審査）
  - ①プレゼンテーションの進め方と審査方法等の説明
  - ②プレゼンテーション
    - 提案1 訪問傾聴ワーカー（見守り隊）養成講座（こむnetちば）
    - 提案5 竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業  
(NPO法人エコネットちば)
  - ③審査結果発表・講評

## 8. 審査記録

- (2) 企画提案型協働事業 公開審査会（アイデア審査）
  - ①プレゼンテーションの進め方と審査方法等の説明

### 事務局説明

- ・プログラムに基づき、本日の審査会の進行について説明した。また、提案2から提案4の継続提案については、平成30年度企画提案型協働事業実施要領に基づきアイデア審査は行わず、書類審査のみで最終審査へ進出したことを報告した。

### ②プレゼンテーション

#### 提案1 訪問傾聴ワーカー（見守り隊）養成講座（こむnetちば）

#### 提案者の発表

- ・パワーポイントを使い、持ち時間内に企画提案のプレゼンテーションを行った。

## 質疑応答

- (質問) よい企画だと思うが、守秘義務の問題があり、個人情報に関するトラブルが懸念される。対象とする高齢者の情報はどのように入手するつもりか。
- (回答) 民生委員や地域包括支援センターなどを想定している。担当課と相談しながら慎重に検討していきたい。支援を必要とする高齢者に手が届く活動を目指したい。
- (質問) 高齢者支援の現場で傾聴の手法は有効だと聞いているが、守秘義務がある民生委員の活動においてもトラブルがあるとも聞いている。受講者の適性の見極めや、プライバシーの担保についてよほど留意しないと、活動に支障がでてくるのではないかと懸念される。
- (回答) 個人情報の保護については、契約書を取りかわすことも考えている。この点についても市の担当課と慎重に協議していきたい。
- (質問) こうした取り組みは重要ではないかと思う。講座のメニューに障がい者が含まれているが、支援対象は高齢者と考えてよいか。
- (回答) 支援対象は高齢者である。高齢者の中にも身体障がい者や精神疾患の方がいるので、講座ではそうした方への対応もあわせて学んでいただきたいと考えている。
- (質問) 活動を行う方を養成することが目的となっているが、団体の仲間や理解者を増やすきっかけづくりという目的もあるのか伺いたい。
- (回答) 事業目的はあくまで活動の担い手を養成することである。他市の事例を調べてみると、行政との連携がうまくいっているところとそうでないところがあったが、市の協力はこの活動を進める上で欠かせないので、協働事業として提案させていただいた。
- (質問) 市内で同じ活動がないか調査されているか。また、資格が必要か伺いたい。
- (回答) 市内に訪問傾聴ワーカーはいない。社会福祉協議会に傾聴ボランティアとして登録し、個人宅や施設訪問を行っている方はいる。特に資格は必要ない。傾聴とワーカーの活動を同時に行うことで、必要な支援が早く受けられることにつながるものと考えている。
- (質問) 訪問傾聴活動を運営していくための体制づくりに関して、団体の現状と将来の運営体制の見込みについて伺いたい。
- (回答) 現在の会員数は7名である。将来的には社団法人化したいと考えている。
- (質問) スタッフは有償か無償か。現在の団体運営は代表が中心となって行われているのか。
- (回答) 現在の活動は無償ボランティアが担っている。将来的には有償も可能な体制にしていきたいと考えている。現在の団体運営は代表が中心だが、来年度か

らはスタッフにも企画を担ってもらいたいと考えている。

#### 提案5 竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業（NPO法人エコネットちば）

※指定テーマについては、担当課の都市整備課がプレゼンテーションに同席。

##### 提案者の発表

- ・パワーポイントを使い、持ち時間内に企画提案のプレゼンテーションを行った。

##### 質疑応答

（質問）今回は指定テーマに対する応募という形になった。維持管理の課題は年々大きくなっていると思うが、そのあたりを含めて提案の概要について伺いたい。

（提案者回答）調整池の機能維持については提案には含まれていない。草刈りなどは団体で行っている。

（都市整備課回答）調整池に堆積している土砂や遊歩道のヒビ割れなど、すぐに処置できるものについてはその都度対応している。補修工事が必要な場合は、設計を行って対応することになる。

（質問）担当課に質問したい。現地を訪れたが、場所がわからず迷ってしまい、駐車場も見つけることができなかった。せっかくきれいに整備されているので、案内版や駐車場の整備は検討できないか。

（都市整備課回答）広報の発信不足という点については、今後努力していきたい。主機能が調整池であり公園ではないため、駐車場は整備していない。

（提案者回答）歩行者用の案内サインはあるが、運転者向けにはない。せめて国道356号には大きな表示があればとわれわれも思っている。駐車場については、祭りイベントの際は隣接の民有地を借りて駐車スペースを確保している。入り口はわかりにくいですが、調整池の隣にあるロータリー周辺は駐車可能である。

（質問）地元の住民でないとわからない場所だが、なぜロータリーと奥の市道がつながっていないのか以前から不思議に思っていた。

（都市整備課回答）道路については担当外なので、この場での回答は差し控えたい。

（提案者回答）委員の皆様からも必要性をPRしていただけるとありがたいので、ぜひお願いしたい。

### ③ 審査結果発表・講評

志村委員長職務代理の進行のもと、各委員の評価を集計した審査結果を次のとおり発表した。

#### 【審査結果】

提案	提案名（提案者）	○	△	結果
1	訪問傾聴ワーカー（見守り隊）養成講座 （こむnetちば）	7	2	可
5	竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業 （NPO法人エコネットちば）	9	0	可

審査結果発表後、提案ごとの講評として、志村委員長職務代理と坂本委員が模造紙に貼りだした各委員の意見を集約して紹介した（下記参照：提案1・5）。

最後に、志村委員長職務代理が以下のとおり全体の講評を行った。

今回の提案2件は、成果の見えづらいつい新規の人材養成講座と、すでに長年継続され、成果を挙げている維持管理事業と対照的な内容であったことから、委員からの意見はそれぞれ異なるものになったと思われる。特に新規提案の「訪問傾聴ワーカー（見守り隊）養成講座」については、これから担当課が決まり協議に進むことになる。各委員も一市民であるので、様々な意見があったと思うが、ひとつの参考としながら、事業計画策定を進めていただきたい。

結果として、今回のアイデア審査は2件とも通過となった。次の最終審査のプレゼンテーションにも期待したい。

#### 提案1 訪問傾聴ワーカー（見守り隊）養成講座（こむnetちば）

##### 【各委員の意見】

##### ニーズを把握した提案

- ・制度と当事者をつなぐ役割として有効な事業だと思います。行政の持ち得る情報を上手く活用しながら協働することを期待します。
- ・傾聴については生活に支障ある方にとって効果があり、社会的ニーズもあると思料されます。ただし実施に際しては、民生委員についても守秘義務が担保されているのにも関わらず、個人情報漏れ等トラブルがあると拝聞しています。受講者の選択、プライバシー保護の担保について有効な対策を用意しないと円滑に運用できない可能性があります。

##### 養成講座の実施について 参加者集めが大事！！

- ・ボランティア候補者がどの程度いるか？その情報収集をどのように行うか？明確なビジョンがないと人が集まらないということにならないか？
- ・訪問傾聴ワーカーの掘り起こしの具体的な提案があれば良かった。

- ・ 講座参加者の募集（人集め広報）。
- ・ 養成講座の受講者の集め方、受講した人が活躍できる出口をきちんとつくっていただくことを期待します。

#### 終了後の展望 活動計画と体制とリスク管理をより具体的に！

- ・ 個人情報の取扱いや管理等、運営体制を構築してマネジメントをきちんとしてほしいです。
- ・ 高齢化が進み、ボランティアの必要性は充分理解できるので、より具体的なシステムの充実を図ってほしい。
- ・ 活動メンバーにつなげる方策（講座だけに終わらせない）。
- ・ 印西市全体の活動に拡張していくための方策等も示してほしい。
- ・ 受講後の受講者の活動内容が不明瞭。クレームが発生した時の最終責任はどこになるのか。民生委員は無償であるのに対し今回のボランティアは有償と言っているが、そのバランスをどう確保するのか。
- ・ 地域社会としての課題は理解できます。養成講座終了後は、どのような活動計画を行うのか具体的に示してください。
- ・ 最終審査に入る前までに、“養成した「見守り隊」のメンバーに、その後どのような枠組み（立場）（組織）で活動してもらおうのか”、を明確にしておくことが、事業の継続性の効果を発揮するための要点と感じます。講座の開催に留まらず、その後の活動の体制づくりの具体策までご提案ください。
- ・ 養成した「見守り隊」のメンバーが、活動に取り組むに当たって、どのような組織体制、市としての組織設計を整えるべきかを、市の担当部局と検討をしたうえで、最終審査に臨んでください。
- ・ 養成の展望。年間何人を育て、どの程度継続するか。育てた人の活動の場づくりについての考え方を明確にしてほしい。
- ・ 講座を通して多くの人が傾聴ワーカーとして活動できるよう、体制を整えるよう期待します。

#### 市と団体の役割と他の機関との連携も検討

- ・ 市内にはほかに傾聴ボランティアをしているところがありますか？あれば協力していくことも検討してください。
- ・ 行政だけではできない仲間を増やすこと。
- ・ 市との協働事業としての各々の役割分担をどう考えるかを示してほしい。
- ・ 市及び民生委員との提携を深めていくことが必要。

## 提案5 竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業（NPO法人エコネットちば）

### 【各委員の意見】

#### 広く市民に親しまれる施設としてのPR整備（駐車場等も！！）

- ・きれいに整備された場所としてもっと利用されるよう、PR、イベントが開かれると良いと思います。もったいない。
- ・日頃の活動に敬意を表します。より多くの市民に訪れてもらえるような周知をしていただきたい。
- ・場所を見つけるのが大変です。わかりやすい案内板を設置してはどうか。
- ・駐車場が無いので、どうしても地域事業の色合が強くなってしまう。もっと広域に広めていく方法を検討してはどうか。
- ・せっかくきれいに整備されているので、関係部署で調整されて、市民に広く親しまれる施設にされてはいかがでしょうか。

#### イベント等も

- ・コスモスまつり以外のイベントをする予定はありますか？地域の人を対象としたイベントの実施も検討してみてはいかがでしょうか。
- ・長年のノウハウの蓄積があり、成果をあげておられる。（整備が行き届いている）

#### 市との協業（目標・課題の共有）

- ・気象や生物等、自然を対象とした管理事業ですので、団体と担当部局が定期的に打ち合わせの場をつくり、現状確認と課題抽出、解決策の立案ができるように、良好な環境の維持に努めてください。
- ・印西市への質問です。公園ではない調整池のような施設に対して、市内全域でどのように整備を進めていくべきと考えているか？その中での竹袋の位置づけを明確にしてほしい。
- ・維持管理の継続性は理解できるが、課題の達成時期、いつまでこの事業を継続できるのかを含めて次のステップを示してほしい。
- ・市の協働事業であるが、NPOとして市に期待することはあるか？

#### きれいな調整池 継続期待 スタッフ、活動要員

- ・スタッフの確保は心配ないか。
- ・美しくきれいな調整池が期待されています。活動される方の高齢化等の問題もあるかと思いますが、ぜひ維持していただきたいと思います。

以上